

仕 様 書 番 号			
G L T - C G - L 0 0 0 0 0 1 L			
作成	昭和 4 9 年	4 月	1 日
変更	令和 8 年	3 月 2 3 日	
補給本部 装備計画部			

陸上自衛隊

帆布製品共通仕様書

陸上自衛隊帆布製品共通仕様書
目 次

1 総則	1
1.1 適用範囲	1
1.2 用語及び定義	1
1.3 引用文書	1
2 製品に関する要求	2
2.1 材料	2
2.2 加工方法	2
2.3 製品の表示	3
3 品質保証	3
4 出荷条件	3
5 その他の指示	3
5.1 無償貸付品・官給品	3
5.2 承認用図面等	3
5.3 仕様書に関する疑義	3

調達要求番号：

陸 上 自 衛 隊 仕 様 書			
物品番号		仕 様 書 番 号	
陸上自衛隊 帆布製品共通仕様書		G L T - C G - L 0 0 0 0 0 1 L	
		防衛大臣承認	年 月 日
		作 成	昭和49年 4月 1日
		変 更	令和 8年 3月23日
		作成部隊等名	補給本部 装備計画部

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、陸上自衛隊における帆布製品の調達に当たり、適用する共通事項について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる用語及び定義は、次によるほか、G L T - C G - Z 0 0 0 0 0 1による。

1.2.1

帆布

たて糸とよこ糸に太番手のより糸又は引きそろえ糸を使用して密に織った厚地の平織物に、耐水加工などを施した加工布をいう。

1.2.2

天幕地

帆布のうち、主として天幕用として使用されるものをいう。

1.3 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部を成すものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

a) 規格

J I S L 2 1 0 1	綿縫糸
J I S L 2 4 0 3	麻縫糸
J I S L 2 5 1 1	ポリエステル縫糸
J I S L 2 5 1 2	ビニロン縫糸
J I S L 2 7 0 1	麻ロープ
J I S L 2 7 0 3	ビニロンロープ
J I S L 2 7 0 4	ナイロンロープ
J I S L 2 7 0 5	ポリエチレンロープ
N D S Z 8 0 1 1	角形銘板

b) 仕様書

D S P L 4 7 5 7	車両用ほろ及びカーテン
D S P L 4 7 6 8	帆布
G L T - C G - K 0 0 0 0 0 1	陸上自衛隊皮革共通仕様書
G L T - C G - Z 0 0 0 0 0 1	陸上自衛隊装備品等一般共通仕様書
G Q - C G - L 0 0 0 3 3 4	天幕共通仕様書

2 製品に関する要求

2.1 材料

材料は、次によるほか、個別仕様書等による。

- a) **帆布** 帆布は、ビニロン帆布、天幕地及び綿帆布とし、**GQ-CG-L000334**及び**DSP L 4768**による。
- b) **テープ** テープは、ビニロンテープ及び麻とビニロンの混紡テープとし、**GQ-CG-L000334**及び**DSP L 4757**による。
- c) **ロープ** ロープは、次の規格の規定による。
 - 1) **JIS L 2701** 麻ロープ
 - 2) **JIS L 2703** ビニロンロープ
 - 3) **JIS L 2704** ナイロンロープ
 - 4) **JIS L 2705** ポリエチレンロープ
- d) **組ひも** 組ひもは、表1に示すビニロン組ひもとする。

表1ービニロン組ひも

直径 mm	打ち方	色	引張強さ N	引張強さの試験方法
4	八つ打	個別仕様書等に規定する場合を除き，自然色とする。染色を行う場合は，後染めで差し支えない。	1 4 7 0 以上	必要な長さの試料をとり，両端をつかんで試験器にかけ，緩やかに引っ張り，これが切断したときの数値を引張強さとする。 試料の有効長は，直径の4 0 倍以上及び1．8 m以下とする。
5			1 7 7 0 以上	
6			2 7 5 0 以上	
8			4 4 0 0 以上	
4	金剛打		8 9 0 以上	
5			1 2 8 0 以上	
6			1 6 7 0 以上	
8			2 6 5 0 以上	
注記 ビニロン組ひもの呼び方は，次の例による。 例1 自然色の場合 ビニロン組ひも 4 mm八つ打 例2 OD色を指定する場合 ビニロン組ひも 6 mm金剛打OD色				

- e) **皮革** 皮革は、**GLT-CG-K0000001**による。
- f) **縫糸** 縫糸は、次の規格による。ただし、色は、帆布又はテープと使用上同程度の色彩のものを使用する。
 - 1) **JIS L 2101** 綿縫糸
 - 2) **JIS L 2403** 麻縫糸
 - 3) **JIS L 2511** ポリエステル縫糸
 - 4) **JIS L 2512** ビニロン縫糸

2.2 加工方法

2.2.1 縫い方

縫い方は、次による。

- a) 縫い合せ形式及び端縫い形式は、図1によるほか、個別仕様書等による。ただし、縫製の箇所及び使用目的に応じ、適切な形式を選び実施する。
- b) 縫い代は、個別仕様書等による。ただし、個別仕様書等に規定しない場合は、縫製の箇所及び使

用目的に応じ、適切な縫い代を選定の上、契約担当官等の承認を受ける。

- c) 帆布の種類及びその号数による縫い目数、使用縫糸及び使用ミシン針は、**表2**を標準とする。
- d) 各部の縫い合せは、優良である。
- e) 縫い飛びや縫い外れがない。
- f) 糸調子及び縫い目が優良で、縫い目曲がりが目立たない。
- g) 縫い始め及び縫い終わりは、完全に返し縫いする。

2.2.2 目止め加工

目止め加工を行う部分は、個別仕様書等によるほか、加工方法は、個別仕様書等に規定する場合を除き、次による。

- a) **塗布法** 縫い目に合成樹脂又は合成ゴムの溶液を塗布する。
- b) **溶融接着法** 溶融接着法は、次によるほか、混用しても差し支えない。
 - 1) **高周波溶融接着A法** 生地と生地との間に、ポリエチレンフィルムなどの合成樹脂フィルムを挟んで縫い合せた後、高周波溶融接着機によって接着加工を施す。
 - 2) **高周波溶融接着B法** 生地を高周波溶融接着機によって接着加工を施す。
 - 3) **熱風溶融接着A法** 生地と生地との間に、ポリエチレンフィルムなどの合成樹脂フィルムを挟んで縫い合わせた後、熱風溶融接着機によって接着加工を施す。
 - 4) **熱風溶融接着B法** 生地を熱風溶融接着機によって接着加工を施す。

2.3 製品の表示

製品の表示は、次によるほか、個別仕様書等による。

- a) **銘板** 銘板は、**NDS Z 8011**による。
- b) **表示** 表示を製品に直接刷込みなどによって行う場合、使用する塗料、インキ、染料などは、**NDS Z 8011**による。

3 品質保証

監督及び検査は、契約担当官等が定める監督・検査実施要領による。

4 出荷条件

包装及び包装の表示は、調達要領指定書によって指定する場合を除き、個別仕様書等による。

5 その他の指示

5.1 無償貸付品・官給品

無償貸付品及び官給品は、**GLT-CG-Z000001**の**箇条5**による。

5.2 承認用図面等

承認用図面等は、次によるほか、**GLT-CG-Z000001**の**箇条6**による。

- a) **色の見本** 帆布、テープ、ロープ及び組ひものは、色について承認用見本を提出する。
- b) **生地・材料の見本** 個別仕様書等に規定する場合は、帆布、テープ、ロープ及び組ひものそれぞれの生地並びにその他の附属材料類の材料について承認用見本を提出する。この場合、これらの品質を証明する試験成績書を添付する。また、生地は、色についての承認用見本を兼ねてもよい。

5.3 仕様書に関する疑義

この仕様書に関する疑義は、**GLT-CG-Z000001**の**8.3**による。

表2－帆布の種類・号数による縫い目数・使用縫糸

帆布の種類	帆布の号数	縫い目数 針／2. 5 4 c m	使用縫糸
ビニロン帆布	9号	4～5	ビニロン#5
	10号	4～5	ビニロン#5 ビニロン#8
	11号	5～6	ビニロン#8
	12号	6～7	ビニロン#8
	13号	6～7	ビニロン#20
綿帆布	6号	3～4	ビニロン#5 麻20／3 ^s
	8号	3～4	ビニロン#5 麻20／3 ^s
	9号	4～5	ビニロン#5 麻20／3 ^s
	10号	4～5	ビニロン#5 ビニロン#8 綿 #8 ポリエステル#8 麻 20／3 ^s
	11号	5～6	ビニロン#8 綿#8 ポリエステル#8 麻20／3 ^s
麻天幕地	16号	5～7	ビニロン#5 ポリエステル#8
	21号	4～6	ビニロン#5
	22号	5～7	ビニロン#20 ポリエステル#20
ビニロン天幕地	防#1	5～6	ビニロン#8
	寒地用	6～7	ビニロン#20
ビニロン・ ポリエステル 混紡交織帆布	9号	4～5	ビニロン#5
	10号	4～5	ビニロン#5 ビニロン#8
	11号	5～6	ビニロン#8
ビニロン・ ポリエステル 交織帆布	9号	4～5	ビニロン#5
	10号	4～5	ビニロン#5 ビニロン#8
	11号	5～6	ビニロン#8

用語	図	図形記号	用語	図	図形記号	用語	図	図形記号
平縫い			当て縫い 片倒し			縁取り 縫い		
平縫い (片倒し)			当て縫い			はさみ縫い		
平縫い (伏せ)			巻き縫い			はさみ縫い 二重縫い		
平縫い (巻伏せ)			三つ巻き 縫い					
片倒し縫い			割縫い					

図1—縫合せ形式及び端縫い形式